平成8年4月4日発行 第6巻第7号(毎月2・4木曜日発行) 通巻105号
編集部直通03(3575)-5556 販売部直通03(3575)-6156 発行・発売 リクルート 東京都中央区銀座8-4-17 〒104

GAT'N ガテン

▶働いて強くなる。仕事メディア

4.4 NO.7
¥200

巻頭特集
3カ月からOK! 建設業界の最短独立コース

フリー職人でここまで稼ぐ!

ガテン海外スペシャル
伝統の技と誇りを学べ!
ドイツ『マイスター修業』最新事情
—見習募集情報付き—

こんなに働きやすい! 高収入&充実の福利厚生が手に入る!
ぜんぶ見せます!!
「新聞専業スタッフ」の仕事

グラビア 高木虎之介 村田和美
名人の肖像 数寄屋大工
新・ガテンな女たち イタリア料理人
マンガ仕事図鑑 やきとり移動販売員

志向・職種・地域で選べる
求人情報1280件満載!

トラブルホットライン 求人情報の内容が事実と反していた場合は 0120-110-288
求人情報掲載のお申し込みは 0120-401-166

ガテン海外スペシャル

伝統の技と誇りを学べ！

ドイツ「マイスター修業」最新事情

見習募集情報付き！

ドイツは世界でも数少ない「職人の国」だ。そんなドイツ職人の頂点が「マイスター」。ガテン取材班は現地に乗り込み、彼らの職人魂とその誇りに体当たりする日本人若者の奮闘ぶりを取材した。伝統のドイツにキミも行ってみないか！

MEISTER Brief

Ikuo Fujii

Ratingen

geb. am 8.11.47 in Tokyo

hat vor dem unterzeichneten Prüfungsausschuß bei der Handwerkskammer Düsseldorf die Meisterprüfung bestanden und ist nach dem Gesetz zur Ordnung des Handwerks (Handwerksordnung) berechtigt, den Titel

Fotografenmeister

zu führen (§ 51), ein Handwerk selbständig zu betreiben (§ 1, 7) und nach Vollendung des 24. Lebensjahres Lehrlinge auszubilden (§ 21).

Fotografen-Handwerk

Düsseldorf, am 25.4.80

マイスター称号を持つ者だけに与えられる「マイスターブリーフ」。職人の頂点に立ったあかしなのである

ちょっと解説

「マイスター」は職人のスター。その社会的地位は高い！

ドイツの職人制度の頂点が「マイスター称号」。「マイスター」とは「職工の親方」という意味で、「マイスター称号」は、ドイツの公式な資格。この職人制度は中世からずっと続いてきたドイツ独特のもので、マイスターになるには、職人としての技はもちろん、経営学や弟子への教育学をマスターし、難関の試験を突破しなければならない。

だから、マイスターはとても尊敬される存在。収入も高く、社会的地位も高い。いわば「職人のスター」なのだ。

PART.1
職人のスター★
ドイツ人マイスターの世界

PART.2
ただ今修業中！
ドイツで技を磨く日本の若者たち

PART.3
最新情報入手！
マイスターの国ドイツで修業しよう！

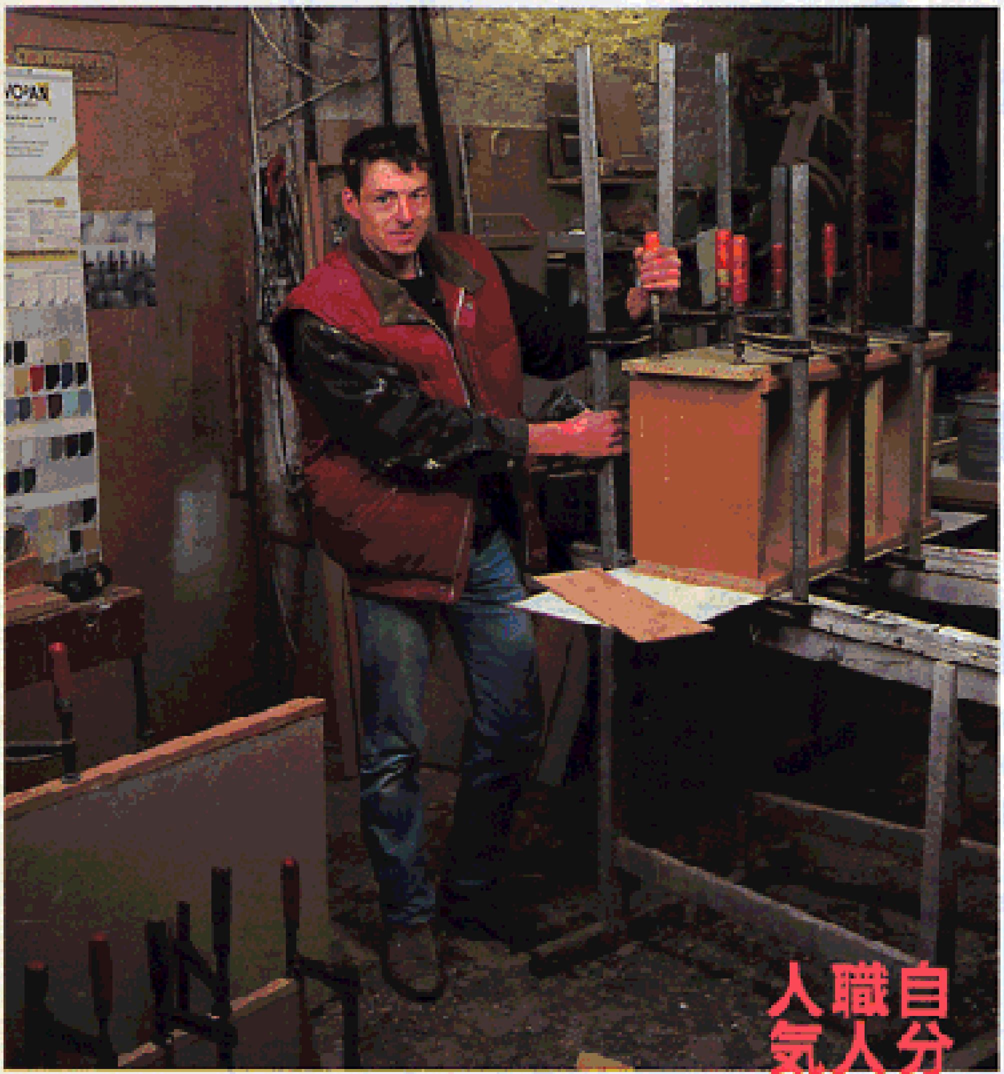
取材・文・コーディネート●東海友由留　撮影●藤井郁夫

コーディネート●畑山悦子、中村哲　取材協力●Handwerkskammer Düsseldorf Ulrich Brand

ドイツでは、職人として独立・開業できるのはマイスターのみと法律で定められている。また職人として経営幹部になるためにもマイスター称号は必要なのだ。活躍中の5人のマイスターにやりがいと醍醐味を聞いた。

Schreiner-meister
シュライナー・マイスター

家具製作マイスター
●ラルフ・イックスさん(29歳)



イックスさんは29歳のマイスター。共同経営者のハーンさんと94年に工房を設立し、すでに2人の見習を雇っている。

「マイスターになったのは独立するため。ドイツでは、マイスター称号を持っている人しか自分の工房を開けないと法律で決まっているんだ。オフィスでサラリーマンをやるなんてごめんだからね」

ドイツでも、親の後を継ぐ若いマイスターは結構いるが、独力で工房を開くのは難しい。父親が公務員のイックスさんは、まさにゼロからの独立。にもかかわらず20代で自分の工房を持つとは職人としてだけでなく、経営者としてもなかなかの腕前だ。

イックスさんの工房で作られる家具は完全オーダーメイドで、世界に一つとして同じ物はない。

「毎回、新しいアイデアをお客さんのところで披露するのはワクワクする。俺らしい家具をいかに作るかが、この仕事の醍醐味。もちろん顧客のニーズも取り入れてね」

彼の斬新な家具の評判はクチコミで広まり、今や大忙しの毎日。朝7時30分から18時までは家具を作り、その後経営者としてデスクワークをする。一日12時間以上働くのは当たり前だという。

「90年から1年間、ガテマラへ家具作りの技術指導に行ってきたんだ。それまでドイツ中心にものを考えていたけど、世界が広がった」

狭くなりがちな職人界でこんな感性を持っているのも、ファンがつくポイントから。

「もっと人を雇って、会社を大きくしたい。だから、夜は『経営学』の学校に通ってるんだ」

マイスターは自分を磨く努力を怠っていないのだ。

自分らしい家具を作るために職人を目指し20代で独立。人気急上昇中の若手家具職人

ハーンさんとの打ち合わせ。徹底的な議論がドイツ流。ここからアイデアが生まれる

マイスターへの道

1983年
見習修業。ギムナジウム在学中、夜間学校に通う。

1985年
一人前の職人になる。レベルの高い工房で働く。

1990年
技術指導のためガテマラへ。力がぐんとアップ。

1993年
マイスターになる。奔走し、94年に工房を設立。

弟子の指導ができるのもマイスタのみ。的確な指示が職人を育てる

共同経営者のハーンさん(左端)と、工房のメンバーたち。若いがよい仕事をしているので、朝から大忙しだ

マイスターの最新事情①
マイスターはステップアップのためさらに学校に通う

イックスさんが通っている『経営学』の学校は13年前に手工業者会議所が開設したマイスターがステップアップするための学校。以前は、腕がよくて弟子の指導ができればマイスターとしては十分通用したが、今はそれだけでは生き残れなくなってきている。というのも、旧東欧などの企業が参入し競争が激しくなってきているからだ。

『経営学』の学校では、経営者や管理職として必要な、人事・経理・法務関連の講義が用意されている。当初は、10人以上の従業員を有するマイスターを対象にしていたが、最近ではイックスさんのように、野心的なマイスターたちが積極的に受講している。学校を修了すると、これも公式な資格となる。

これからのマイスターは、マーケティング、投資効果、サービスなどに関する知識も必要とされているのだ。

ドイツの若者の中で最近の人気職種はオシャレ系!?

手工業だけで1[illegible]種類あるマイスターだが、その中で最近人気なのが、歯科技工士、眼鏡製作、家具職人、カメラマンなど。手工業会議所によると「いわゆるオシャレ系が人気」とのことだ。

●ヴォルフガング・シュパーンさん（42歳）
●ミヒャエル・シュパーンさん（36歳）

ドイツの古い慣習を打ち破り敏腕経営者として活躍する実業家マイスター

ドイツのマイスターというと「職人の神様」親方、頑固な職人」。そんなイメージを持っている人が、日本では多いのでは？ ドイツには中世の時代から続くマイスターを頂点とした徒弟制度が確かに残っている。しかし、今求められている理想のマイスター像は、ズバリ、優秀な経営者なのである。

「ドイツでは職人の領域が非常に細かく分かれていて、これがお客さんにとっても、職人にとっても、足かせになることが多いんだよ」

と塗装マイスターの4代目、ヴォルフガング・シュパーンさんは言う。

たとえば、家の改装をしたいと思ったら、工事を始める前に少なくとも5人以上のマイスターと打ち合わせをしなければならない。塗装、床工事、照明、ドア、水回りなどなど、それぞれ別の会社が担当する。非効率きわまりないが、法律上そう決まっているので、今までその方式が続いてきた。

「でもね、うちの会社ではやり方を工夫して、他業種の会社と契約し、工事を一括して受注できるようにしたんだ。つまり、お客さんは、私とだけ打ち合わせをすれば家の改装がすべて済むってわけさ」

シュパーンさんの会社では、このやり方を4年前から導入。去年は、約380万マルク（約2億8000万円）という最高の売り上げを記録した。（※1マルク＝約75円）

「職人仕事はクチコミで広がるのがほとんどだけど、このやり方だと受注のルートも広がるんだ。手間はかかるけど、うちで請け負う仕事も増える。広告もドイツ全土で出してるから、企業イメージも上がる。いい循環だね」

ヴォルフガングさんの今の仕事は、経営業務と新規の顧客開拓が中心。現場での指導と経理は、同じくマイスターである弟のミヒャエルさんが担当している。

「弟がいるから、年6週間の休みも取れる。オフタイムの充実も仕事には必要だよ」

彼らは公私ともハッピーなのだ。

デュッセルドルフの高級住宅街にあるシュパーン（兄）邸。この家の塗装はもちろん自社で。楽しみは家族との旅行

現在従業員は21人。見習いは7人（うち2人は女性）。中には勤続35年の社員もいる

オフィスでは兄弟が机を並べて仕事している。信頼しあっているパートナーだ

ヴォルフガングさん マイスターへの道

1975年
見習修業。自ら父親と同じ塗装工を目指す。

1978年
一人前の職人になる。マイスターの父の所で修業。

1980年
マイスターになる。試験をわずか3年でクリア。

現在
社長として新規の顧客を開拓し売り上げを伸ばす。

ミヒャエルさん マイスターへの道

1974年
見習修業。兄2人と同じく塗装工を目指す。

1977年
一人前の職人になる。昼間はマイスター学校に。

1984年
マイスターになる。兄弟3人とも試験に合格。

現在
社長、兄とともに会社を経営。現場と経理を担当。

現場を見回るミヒャエルさん（右端）。勤続43年のシュタインブッシュさん（左端）と、見習のリンゲス…

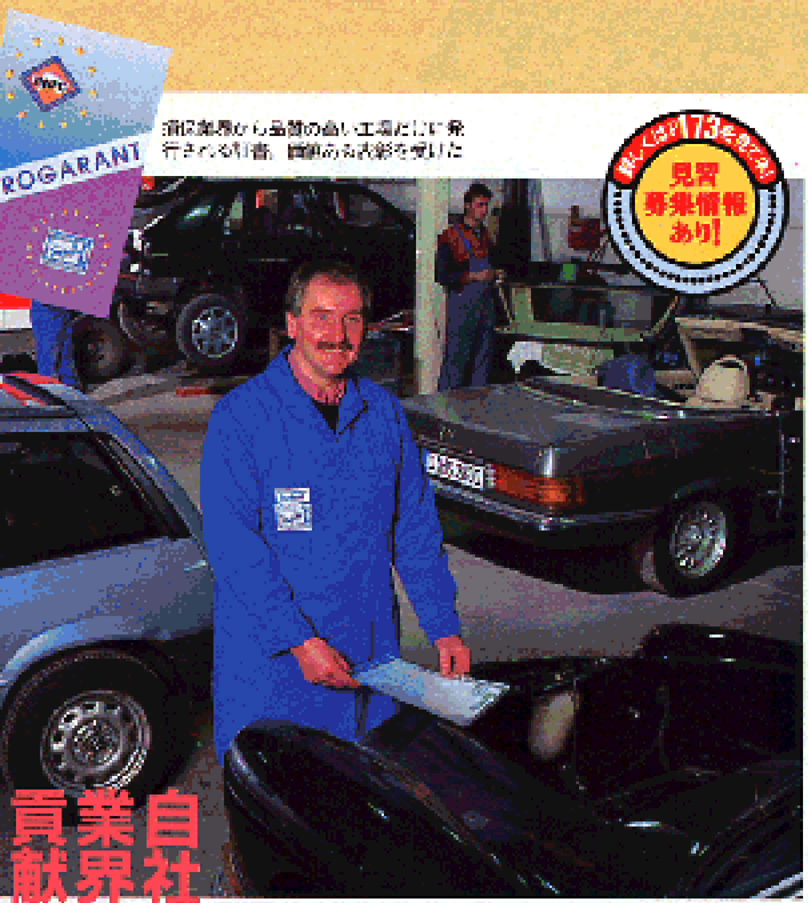
マイスターの最新事情 2
ドイツでも「変わらなきゃ」。職人の世界も変化している

ヨーロッパでマイスター制度がいまだに機能しているのはドイツのみといっていい。この理由は、マイスターが経営する中小企業を、国が法律で保護してきたためである。だがその半面、規制が多く、さまざまな問題も出てきている。

その一例がシュパーンさんも言っていた、細分化された分業制度だ。あまりにも効率が悪いため近代化が立ち遅れている。だから今、経営感覚に優れたマイスターたちが、規制の隙間で新しい経営スタイルを模索中だ。

また、マイスター称号を持っている人だけが、独立できるのも問題になっている。誰でも開業できないため、新規参入がしにくく、それが健全な競争を妨げていると言われているからだ。

法律の壁を乗り越えて、職人の世界も徐々に変わりつつある。ドイツのマイスター制度も「変わらなきゃ」で、今ちょうど過渡期を迎えているようなのだ。



消費業界から品質の高い工場だけに発行される証書。厳しい審査を受けた

Brauer-meister
ブラウワー・マイスター

ビールマイスター

●カイ・カンプハウゼンさん(35歳)

最古のビール醸造所で経営幹部になれるのはマイスターだからこそ

最古のアルトビール醸造所ボルトンはなんと1266年創業だ。アルトビールとはデュッセルドルフ近郊の、茶色いコクのある地ビール。カンプハウゼンさんはここでビールマイスターとして働いている。ドイツ全土でもビールマイスターのポストは3000ほど。人気の職種だが就職するのは至難の技だ。

「マイスターの仕事でビール製造はごく一部。人事や教育、原料の仕入れなど経営まわりの業務が多いんです。マイスターだからこそ経営幹部になれるし、やりがいがあるんですよ」と胸を張る。

「ドイツのビールは、水、麦、ホップ、そして酵母だけで作られます。それが本物のビール。16世紀から守ってきた誇りです」。仕事を愛する彼は、日本人よりずっとハードワーカーかもしれない。

マイスターへの道

1977年
見習修業。コック志望からビール職人に転向した。

1979年
一人前のビール職人に。めきめき頭角をあらわす。

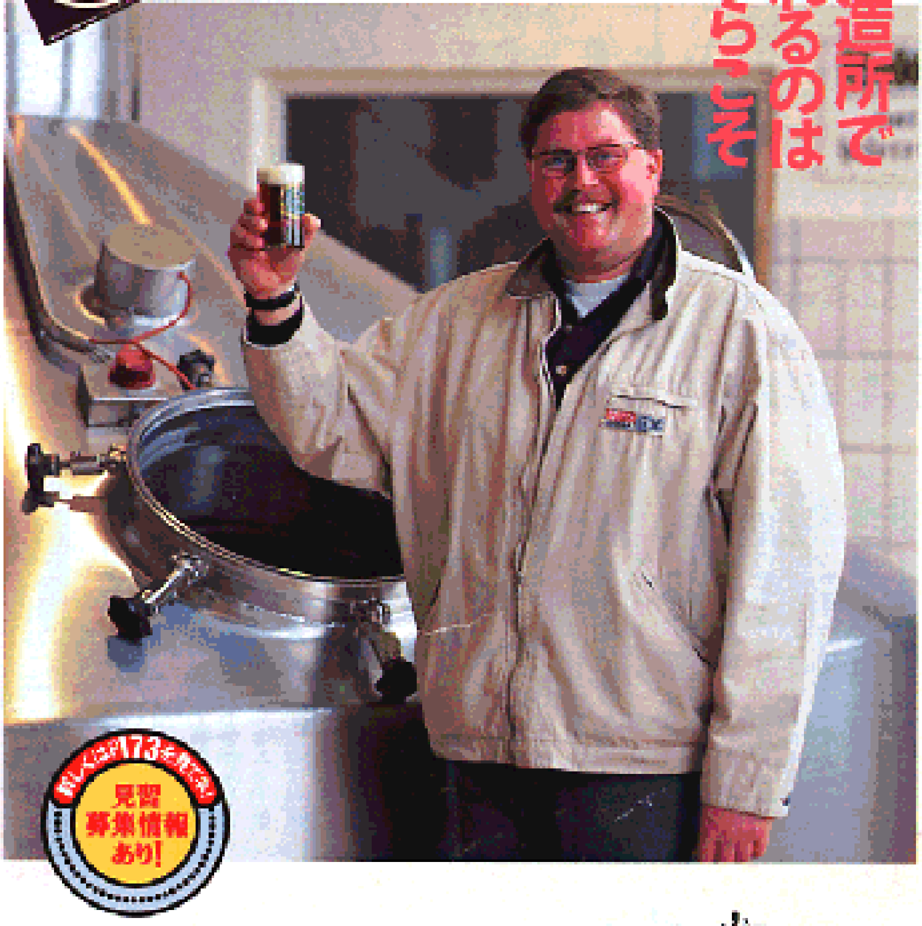
1983年
マイスターになる。念願のボルトンに就職が決定。

現在
技術担当役員。幹部としてビール作りに奮闘中。

年間500万ℓの生産量。昔ながらの陶器のボトルも人気商品だ

品質管理もマイスターの重要な仕事。休業日にも必ず12時にチェックのために出社する

「太古のビール」という名の本格ビール。ドイツでも珍しいビールだ



Karosseriebau-meister
カロッセリエバウ・マイスター

自動車板金・塗装マイスター

●デトレフ・テーデンスさん(42歳)

自社の経営にとどまらず業界全体のレベルアップに貢献するリーダー

マイスターへの道

1967年
見習修業。物作りが好きだったので職人を目指す。

1971年
一人前の職人になる。マイスター修業に入る。

1976年
マイスターになる。78年に会社を設立。

1988年
経営学コースを修了。

テーデンスさんは優秀な経営者としてたびたび表彰されている。技術レベルの高さに加え、業界全体に貢献していることを評価されたのだ。過去に何回も新製品や新技術に関する講習会を開き、従業員だけでなく、同業者にも参加を呼びかけている。

「マイスターが経営しているほとんどが小企業。これからの時代は業界全体の質を向上させないと、

環境と従業員の健康のために、自動車向け水性塗料を、ドイツで最も早く導入したのも彼だ。

おまけに東欧諸国や旧東独への技術指導に出向いている。忙しすぎて、自社の経営まで手が回らないのではと心配すると、「一人娘はBMWで修業中。これでマイスターの婿をとれば、バッチリさ」と

協会会長のムーゼッカーさん、共同経営者のお父さんと。ミニチュアはコレクションだ

そんなドイツに、本場で伝統の技を修業すべくやってきた日本人がいる。彼らの修業&奮闘ぶりを取材した。

バイオリン修復の名門 マホールド社で修業中

●須賀 修さん(31歳)
みちるさん(29歳)

職人募集情報あり!

日本ではなかなか触る機会もないたくさんの古い名器に出合える。それを修理するためドイツに来た

すが・おさむ●1964年生まれ。87年東京バイオリン製作学校卒。その後校長の助手兼講師として3年間勤務。91年に渡独。現在マホールド社で活躍中。

すが・みちる●1966年生まれ。89年東京バイオリン製作学校卒。修さんは学校の先輩。会社勤務を経て92年に渡独。93年3月結婚。9月より同社勤務。

「小さいころから弾いたりしてたから、バイオリンが好きだったけど、ついに熱が高じてドイツまで来てしまいました。ハマった!って感じですね」

と、須賀修さんは古いバイオリンがズラリと並ぶ工房で語ってくれた。

彼が修業しているマホールド社は、世界でも有数の古楽器の販売会社だ。あのストラディバリウスやグアルネリウス・デル・ジェスなど名工が製作した世界の名器が、ここで修理され復元されて、世界の演奏家の手に渡っていく。

ドイツに渡ったのは91年。

「日本の製作技術は世界のトップレベルなんですが、修理や修復の面はまだまだ。だからこそドイツへ本場の技術を習得するためやって来たんです」と修さん。

海外で修業しようと決心してからは、展示会などに足しげく通い、さまざまな工房の人たちと会って、修業先を探し回った。そんな中、来日していたマホールド社社長と工房長との出会いが今の工房に入るきっかけとなる。

「海外に出て修業するならば、日本で得られるものはすべて習得してから来るべきです。自分に何が必要なのかを見極めてから。海外にこないと価値がないですよ」

さすが、名門工房で「一流の職

現在メンバ
同僚はフラ
ンダ出身、
でにぎやか

巨匠ストラディ
スの黄金期に作
名器「ベルナル
インスハイマー
年作。お値段も
んン億円! こ
楽器をマホール
修復している。

「海外でも、同じ業界ですから足を使えば情報は集まるはず。自分にあった職場探しが一番大切」

すでに工房で働いて5年たち、マイスターの工房長の次に古株だ。そして、93年からは同じくバイオリン製作者の妻みちるさんも、同じ工房で働くことになった。

ドイツで働くメリットについて、須賀夫妻は口をそろえて、自分で納得がいくまで時間をかけて仕事ができ、よい楽器に多く出合えることだという。それは、日本の「顧客サービス=早く仕上げること」という考え方とは全く違うという。

「将来は日本に戻るつもりですが、まだまだ学ぶことがたくさんありすぎて……」と語る2人。公私ともに充実した、ドイツでの修業の日々は当分続きそうだ。

マイスターから一言

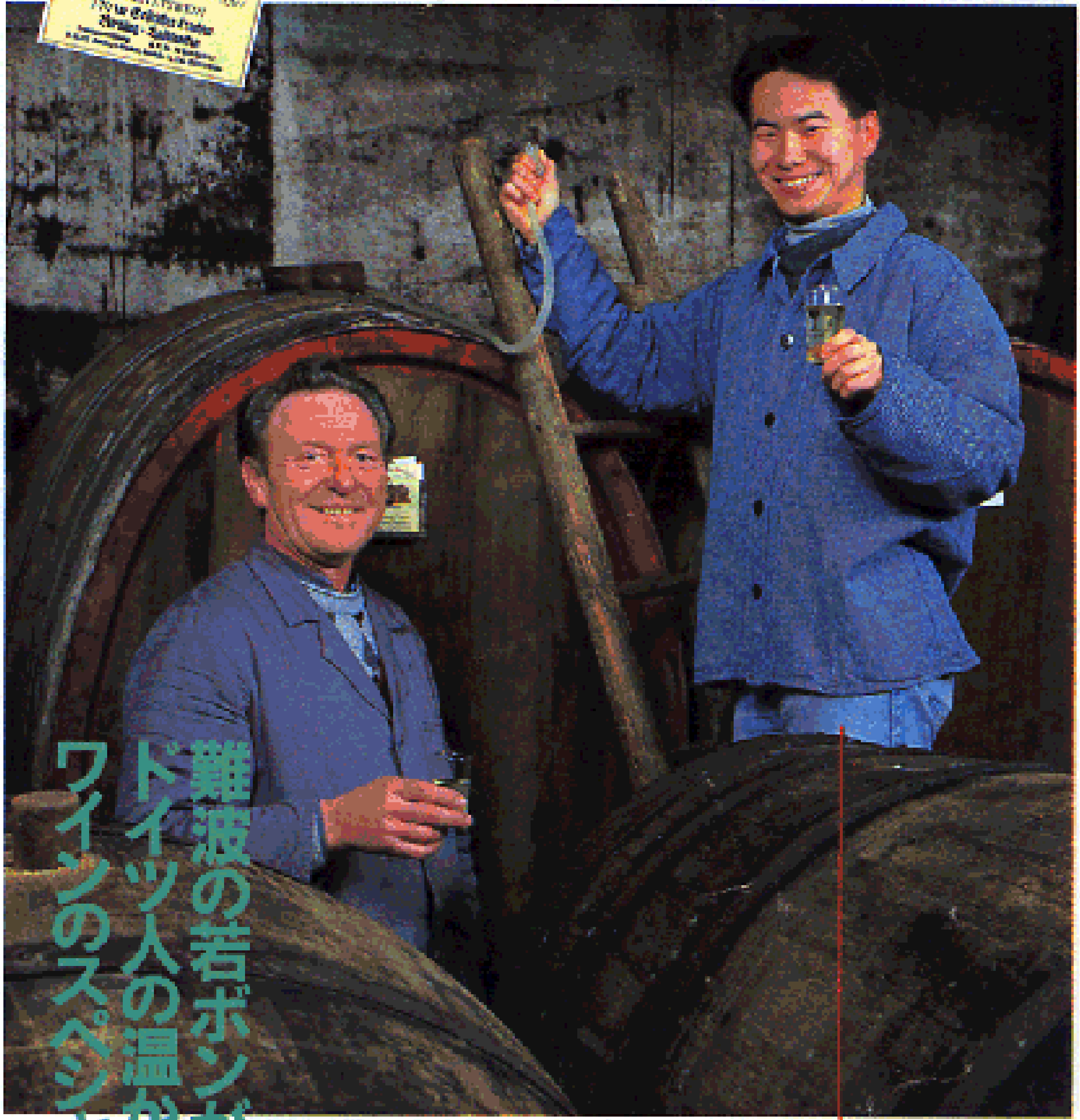
オサムは一流の職人。だから一緒に働くのが面白い

オサムは技術的にも人間的にも素晴らしいものを持っています。ずっとここで働いてほしい。称号こそ持っていないけど、すでにマイスターとしてどこでも通用する職人ですね。ドイツの技術と日本の木に対する繊細な感覚をマッチさせて、よりよい仕事をしてほしい。ミチルも頑張っていますね。彼女の仕事にも十分満足しているよ。

マホールド社工房長
マルセル・リヒタースさん

工房の責任者リヒタースさんはいつもにこやかで、冗談をとばす。工房の雰囲気はとても明るい。

ピーポ醸造所のワインのラベル。日本で見つけたら味わってみて



ワイン産地を巡りワイン造りを修業中

●大野英雄さん（24歳）

難波の若ボンがワインの修業中。ドイツ人の温かい声援を受け、ワインのスペシャリストを目指す

おおの・ひでお●1971年生まれ。大学卒業後、家業を継ぐまで3年の猶予をもらい94年渡独。アール国営醸造所で1年間の研修後、ガイゼンハイム大学に在学。

「とにかく職種はなんでもいいから若いうちに、海外で働きたかった」という大野さんは、酒屋の跡取り息子。知り合いのツテで、ドイツのワイン醸造業界紙に「若い日本人男性が修業場所を探しています」という広告を出してもらったのがこの世界に足を踏み入れるきっかけだった。

そんな彼を受け入れてくれたのが、ドイツ最高峰の赤ワインを造っているアール地方国営醸造所。そこで、研修生として月に約5万円をもらいながら素人からのワイン修業が始まった。

当時、ドイツ語はまったくできず、聞き取った言葉をそのままカタカナで書きとめ、家に帰って辞書をかたっぱしから引くという毎日だった。

「何回も聞き返してみんなの足手まといになるのは嫌でしたからね。自分で望んで来たことだし、つらくはありませんでした」

そんな熱心な態度が、マイスターの目にとまり、新たな転機が訪れる。アールでの研修終了後、学問的にワインを勉強したいという大野さんに、自らの母校、ガイゼンハイム大学を紹介してくれたのだ。ここは世界でも三本の指に入るワイン醸造学の専門大学である。

現在の目標はドイツ13大ワイン産地を制覇すること。週末を利用して各地の醸造所巡り、利き酒の特訓中だ。

「ふり返ってみると自分でもツイていたなと思います。ともかく自分をさらけ出せば、おのずと道が開ける」と言い切る。

何事にも前向きに。それがラッキーを呼び寄せるコツなのだ。

「帰国したら、ドイツワインのスペシャリストを目指したい。まずは日本ドイツワインコンテストに入賞しなくっちゃ」

ピーポ醸造所は4.5haのブドウ畑を所有。陽気なマリアさんは大野さんのドイツの母だ

ピーポ醸造所のワインはヘッセン州ワインコンテストで数多く入賞している。特に76年産のアウスレーゼは逸品。芳じゅんで甘みが強くデザートワインとして楽しみたい白ワインだ。

マイナス5度の中、ブドウの木のせん定を教わる大野さん。こうした作業の積み重ねがうまいワインを生む

何ごとにも熱心。それが修業をモノにするポイント！

ヒデオはいつも家族並に手伝いに来てくれるんだ。今日のようなブドウの木のせん定は零下の中での作業になるけど、そんなときにも喜んで来てくれる。今時、ドイツの若者にもこんな熱心なやつはいない。だからこそ覚えが早い。日本に帰ったら、この経験を生かしておいしいドイツワインをどんどん広めてほしいね。

シェフから一言

ピーポ兄弟醸造所オーナー
ゲアハルト・ピーポさん

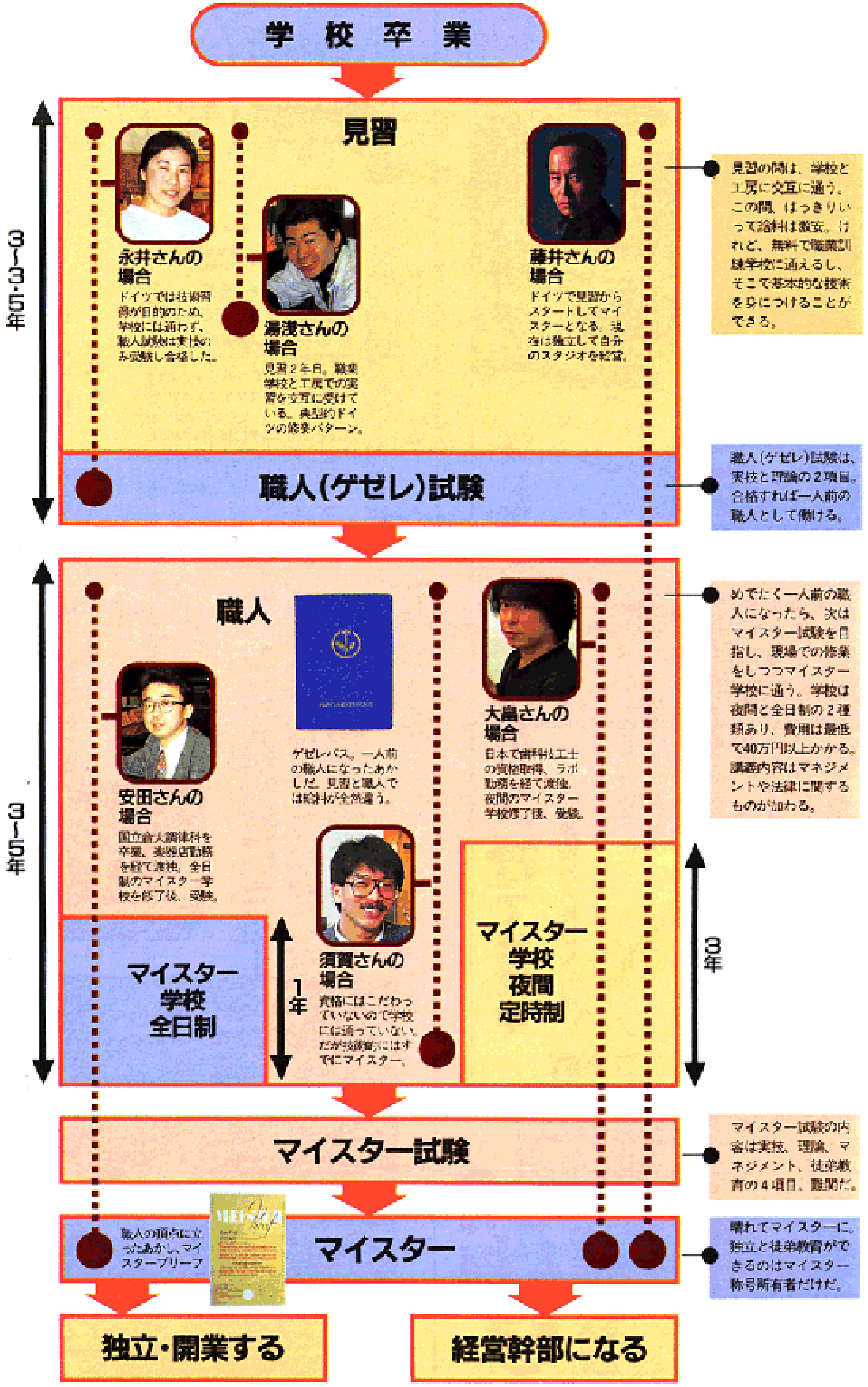
ブドウの栽培からラベル張りまで家族だけでこなす醸造所のオーナー。日本にも輸出している。

入手! マイスターの国・ドイツで修業しよう!

ドイツではマイスター称号取得まで一貫した資格制度がある。だけど、ちょっと複雑でわかりにくいかも。そこで、一目でわかる、今回取材した日本人8人のケーススタディ付き「マイスターへの道」を紹介しよう!

マイスターへの道はこうなっている!

ドイツの職人教育はとても合理的。学校での講習と勤務する会社での実習の2本だてで、無駄のない教育システムになっている。試験に合格すれば、有力な公的資格を取得したことになる。



マイスターになったからには独立したいという人が多い。会社を大きくするのも自分の力量しだい。そのため「マイスターのための経営学」の取得をさらに目指す人が増えてきた。

マイスター資格を持っていると、企業に管理職として就職できる。マネジメントと徒弟教育の訓練を受けたからこそだ。もちろん、職人として経営幹部になるのも夢ではない。

■マイスター称号を取得した日本人マイスターに聞くドイツ修業のコツ

歯科技工士マイスター
●大畠一成さん（35歳）

85年渡独。92年マイスター称号取得。現在ロルフ・ヘルマン・デンタルスタジオのチーフマイスターとして勤務。

指導力が高いからこそマイスター。修業中は積極的に教えをこうべし

ドイツでのやりがいは「大きい仕事ができることです」と大畠さんは言う。歯科治療のほとんどが保険でカバーされるので、歯科技工士は最高の素材を使って製作できるのだ。現在はチーフマイスターとして自分の製作はもとより、弟子の指導にも余念がない。93年には年間最優秀マイスター賞を受賞。「マイスターは弟子に丁寧に教えてくれる。だから積極的に質問すること。これが技術を早く習得するコツ」とマイスター試験トップ合格の大畠さんはアドバイスしてくれた。

ピアノ調律マイスター
●安田昌宏さん（35歳）

84年渡独。91年マイスター称号取得。現在レーボック・ピアノ社に勤務。ドイツで知り合った妻もバイオリニスト。

日本にはない技術習得の環境がある。だからドイツで修業する意味がある

安田さんは大学在学中から、ドイツでピアノ製作の修業をしたいと考えていた。ドイツに来てマイスター学校に通っている時は失業状態。高価な受講費も自己負担だった。しかし「本物の技術を習得するにはそれも苦にならなかった」という。「この店には常時100台以上のピアノがあります。日本と違ってスタインウエイをはじめ各社のピアノを扱えるのが、ドイツで働く魅力ですよね」。日本にはない職場環境と教育システムを利用する、これがドイツで修業するコツだ。

写真撮影マイスター
●藤井郁夫さん（48歳）

67年渡独。70年見習、73年職人。80年マイスター称号取得と同時に、自分のスタジオを開業。広告を中心に活躍中。

コネがなくてもツテがなくても直接アタック！　それが道を開くコツ！

「写真修業が続けられなくなりそうなときが何回もありました。そんなときはトップに直接アタック。道は自分で切り開く」と藤井さんは言う。修業するために必要だった労働ビザは、当時の首相に手紙を書いて手に入れた。職人（ゲゼレ）になってからのスタジオ探しは写真協会会長に直談判して紹介してもらったそうだ。「いろいろ無茶もしたけど、最後はやる気。強い意志を持つことです」。この記事の写真もマイスター藤井がみずから撮影してくれたのである。

日本人を受け入れてくれる会社・団体最新情報

まずは会社情報だ!

今回取材した会社がやる気のある日本人見習を受け入れてくれる。ドイツで技を磨きたい人はチャンス!英語かドイツ語の手紙で問い合わせてみよう!

募集職種 自動車板金塗装見習

会社名●テーデンス

あて先● Thedens GmbH & Co.KG
Herr Detrev Thedens
(デトレフ・テーデンスさんあて)

所在地● Pinien Str. 21 40233
Düsseldorf Germany

募集条件

97年より見習1～2名採用可。ドイツ語必須。未経験者でも応募可能。

募集職種 パン職人

会社名●シュルター

あて先● Schülter
Frau Annemarie Scülter
(アンナマリー・シュルターさんあて)

所在地● Ost Str. 113 40210
Düsseldorf Germany

募集条件

見習1名募集。英語かドイツ語のできる経験者。まじめで熱心な人を求む。

募集職種 バイオリン修理・製作者

会社名●マホールド

あて先● Machold
Herr Marcel Richters
(マルセル・リヒタースさんあて)

所在地● Ausser der schleifmühle 46
28203 Bremen Germany

募集条件

97年より職人1名募集。高い技術を持ち即戦力となる経験者のみ応募可。

募集職種 家具職人

会社名●ヨルダン

あて先● C.Jordan
Herr Christoph Jordan
(クリストフ・ヨルダンさんあて)

所在地● Stockkamp Str. 12 40477
Düsseldorf Germany

募集条件

97年より見習1名採用可能。英語だけでも可だが、ドイツ語ができれば尚可。

募集職種 ビール職人

会社名●ボルテンビール醸造所

あて先● Carl Bolten & Co.
Herr Kai Kamphausen
(カイ・カンプハウゼンさんあて)

所在地● Rheydter Str. 138 41352
Korschenbroich Germany

募集条件

97年より見習1名募集。中卒以上であればビール醸造未経験者でも応募可能。

そして修業情報を提供してくれる団体情報だ!

ドイツで修業したいならば、まずは各種団体に聞くのが早道。資料も豊富に用意されているし、どこもとっても親日的。英語かドイツ語の手紙で問い合せてみよう。

デュッセルドルフ手工業会議所

情報提供できる職種

〈建築関連〉左官、鉄筋コンクリート、大工、屋根ふき、道路工事、タイル・モザイク、セメント工事、床工事、噴水工事、石工、塗装、空調設備など〈電気・金属関連〉金属工、自動車ボディー、機械製造、工具製作、旋盤工、オートバイ修理、オフィス用電気工事、自動車修理、精密機器修理、鉄器製造、板金、ガス水道配管、電気配線、ラジオテレビ修理、時計製作、彫金師など〈木工関連〉家具製作、フローリング、ブラインド製作など〈洋服・布地・革製品関連〉テーラー、刺繍、ニット、帽子製作、製靴、馬具製作、バッグ製作など〈健康・衛生・清掃関連〉眼鏡、義肢製作、歯科技工士、理美容師、ビル清掃など〈ガラス・紙・陶磁器関連〉ガラス工、精密光学、宝石加工、カメラマン、製本、印刷、陶工、パイプオルガン製作、ピアノ・チェンバロ製作、バイオリン製作、ネオン看板製作など

あて先●Handwerkskammer
Herr Ulrich Brand
(ウルリッヒ・ブラントさんあて)

所在地●Georg-Schulhoff-platz 1
40221 Düsseldorf Germany

ウルリッヒ・ブラントさん

今回ガテン取材班に全面協力してくれたナイスガイ。デュッセルドルフで修業したい人を喜んでお手伝いしてくれるそうだ。

デュッセルドルフ商工会議所

情報提供できる職種

料理人、レストラン、ホテル、金属産業、銀行、ツーリスト、保険、電気産業、化学産業など

あて先●Industrie-und handelskammer
zu Düsseldorf
Herr Manfred Bühl
(マンフレッド・ブールさんあて)

所在地●Ernst-Schneider-Platz 1
40212 Düsseldorf Germany

ライン地方農業会議所

情報提供できる職種

庭師、花屋、農業、林業など。
各分野ごとに担当者がわかれているため、自分の希望する分野を明記して問い合わせを。各分野ごとに教育内容を詳しく書いた冊子を送付してくれるとのことだ。

あて先●Landwirtshaftskammer
Rheinland

所在地●Endenicher Allee 60
53115 Bonn Germany

エルトビルワイン業組合

情報提供できる内容

ヘッセン州でのワイン醸造に関する情報全般。ワイン学校もあるので、研修先および教育についてのアドバイスもできる。

あて先●Weinbauamt
mit Weinbaushule Eltville
Dr.Andreas Booss
(アンドレアス・ボースさんあて)

所在地●Wallufer Str. 19
65343 Eltville Germany

日本の情報提供窓口

日本
カール・デュイスベルク協会

所在地●〒107 東京都港区南青山5-10-5 第二青谷ビル2階
☎03-3797-3387
担当者 田村さんあて

※ドイツに本拠地をおく国家団体のパートナー組織。ドイツ語の習得から研修先の紹介、研修ビザの取得まで相談にのってくれる。ぜひ問い合わせを!

ドイツで働くためにはビザが必要。けれど、労働ビザ(給与支給)はなかなか手に入らない。修業の場合は、給与を支給されない研修ビザで働くことになるので注意!いずれにしても、まずは修業先を探すことが先決だ!